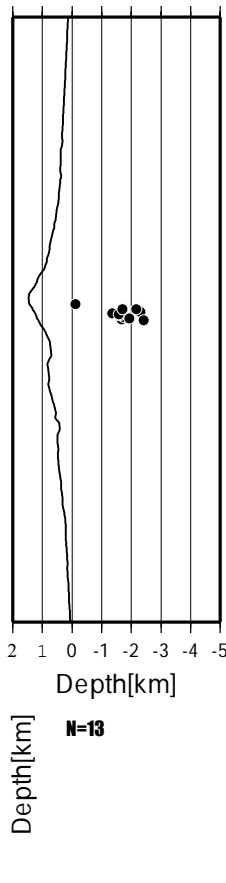
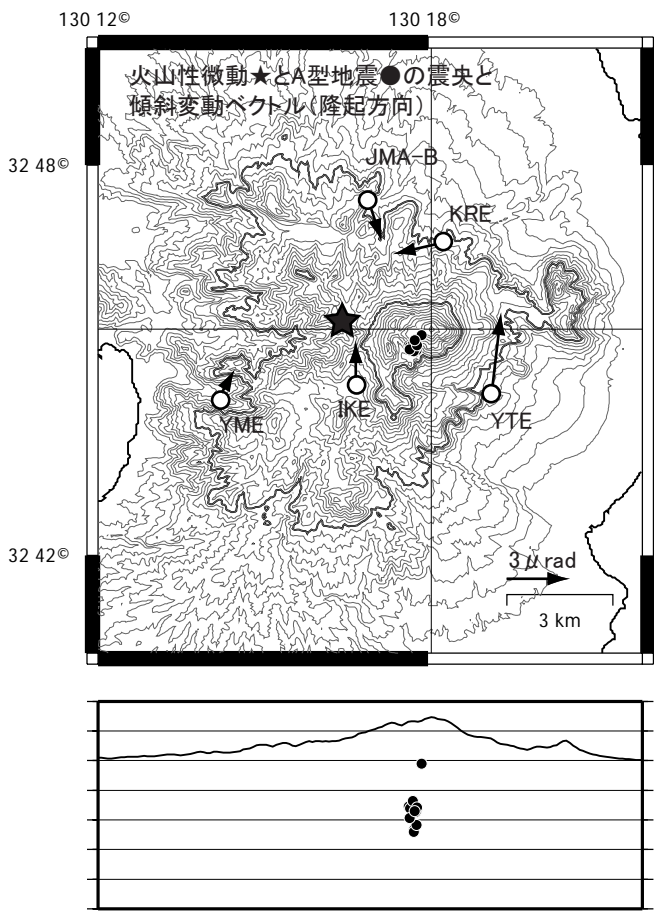
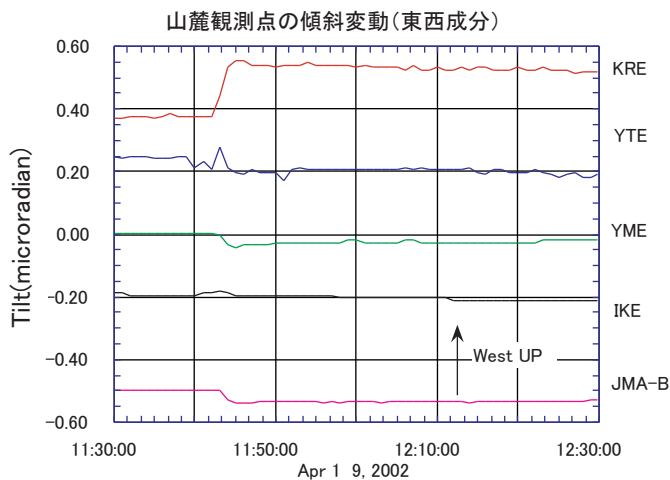
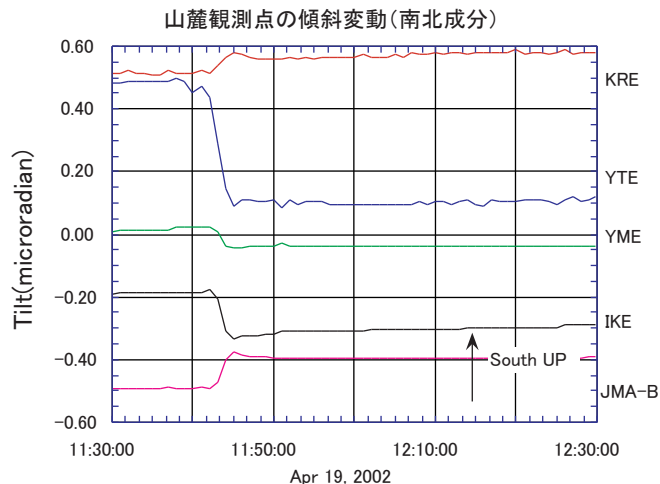


2002年4月19日の傾斜変動を伴う地震活動

1995年の噴火終息直後からステップ状の山上がり傾斜変動を伴う微動や地震活動がしばしば発生している。1995年に24回観測されたあと、毎年1,2回発生していた。前は2000年3月であったので、2年ぶりの現象である。



今回の活動の特徴として、

- (1) 火山性微動が普賢岳の西方約2kmの地点で発生（深さは決定できなかった。）
- (2) この微動に伴い、微動発生域が膨張するセンスで傾斜変化が発生。
- (3) 微動発生後3時間で13個のA型地震が普賢岳直下で発生。最大のはM0.5
- (4) 発生したA型地震の押し引き分布は総ての方向で引きである。

